

CASBEE神戸 ver.1

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.1 ■使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.1 [Original/CASBEE-NCb_2010(v.1.3)]

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)神戸製鋼所新本社ビル	階数	地上9F
建設地	兵庫県神戸市	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,500 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,025 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2013年2月 予定	評価の実施日	2013年1月15日
敷地面積	6,695 m ²	作成者	武内篤史
建築面積	2,670 m ²	確認日	2013年1月15日
延床面積	23,494 m ²	確認者	武内篤史



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 3.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

100% 65% 65% 65%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 4.1

Q1 室内環境: 3.7

Q3 室外環境 (敷地内): 4.5

LR1 エネルギー: 4.3

LR2 資源・マテリアル: 3.7

LR3 敷地外環境: 3.8

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 4.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 4.5

LR のスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

3 CASBEE神戸 の重要項目		
<h4>バリアフリー計画</h4> <p>Q-2/1.1.3 バリアフリー計画</p> <p>3.0</p>	<h4>建築物の耐震性等</h4> <p>Q-2/2.1 耐震・免震</p> <p>3.8</p> <p>Q-2/2.4 信頼性</p> <p>4.6</p>	<h4>まちなみ・景観への配慮</h4> <p>Q-3/2. まちなみ・景観への配慮</p> <p>5.0</p>
<p>配慮の概要</p> <p>車椅子用スロープを正面側に2カ所配置するとともに、スロープや階段には手摺を設置している。床には点状ブロックを敷設。車椅子使用者用便房も完備。</p>	<p>配慮の概要</p> <p>建築基準法レベルの1.25倍以上の保有水平耐力とする。</p>	<p>配慮の概要</p> <p>外壁は落ち着いた色合いのタイルとし、さらには敷地周辺に緑化を行うことで、まちなみに馴染むことを狙いとっています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照された